

平成29年度 ショットピーニング技術協会 学術講演会プログラム

日時：平成29年5月25日(木) 14:30~16:20
会場：明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン2階 A5・A6室
(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

| 座長：丹下 彰 (日本発条(株)) | | |
|---------------------|----------------------------|--|
| 時刻 | 題名 | 転がり滑り接触における微粒子ピーニング処理の摩耗低減効果 |
| 14:30 | 研究者 | 名城大学大学院 山本 啓介, 宇佐美 初彦 |
| ~ 14:50 | 概要 | 転がりおよび転がりすべり接触面の損傷機構に及ぼす微粒子ピーニング処理の影響を評価した。残留応力および硬さの変化も測定し、損傷機構との関係を考察した。 |
| 14:50 | 題名 | 高面圧低速転がり接触条件における接触面の損傷挙動に及ぼす微粒子ピーニングの効果 |
| ~ | 研究者 | 名城大学大学院 大堀 圭城, 宇佐美 初彦 |
| 15:10 | 概要 | 高面圧低速転がり接触条件における接触面の損傷挙動に及ぼす微粒子ピーニングの効果について実験的に検討し、損傷状態と硬さおよび残留応力の関係を考察した。 |
| 15:10 | 題名 | 空気式ショットピーニングを施した浸炭硬化鋼の転動疲労寿命 |
| ~ | 研究者 | 岡山理科大学 關 正憲, 新東工業(株) 小林 祐次, 後和 大輔 |
| 15:30 | 概要 | 本研究では、空気式ショットピーニングを施した浸炭硬化鋼と鋼球による転動疲労試験を行い、浸炭硬化鋼の転動疲労寿命に及ぼすショットピーニングの影響について検討した。 |
| 15:30 | 題名 | 日本におけるショットピーニング技術と最新評価技術の開発動向 |
| ~ | 講演者 | ショットピーニング技術協会 当舎 勝次 |
| 16:00 | 概要 | 近年、日本において測定能率の良い評価技術が開発され実用化されてきた。今回は、ショットピーニング加工の特徴と加工面の最新評価技術の開発動向について解説する。 |
| 16:00 | 題名 | 中国における応力測定の実状 |
| ~ | 講演者 | (株)ジャクセル 小木曾 克彦 |
| 16:20 | 概要 | 鉄道、自動車生産が今や世界のトップに並ぶ中国でのX線応力測定の実状を見聞する機会が最近あり、それら産業の進展を支える活発な学会活動の様子を紹介する。 |
| 17:00 ~ 18:30 | 技術交流会 (会場:リバティタワー23階 サロン燦) | |

*下線は講演者